



“わが村は美しく－北海道”

2025 / 3 / 4

第180号



わが村 Facebook



わが村 Homepage

「わが村は美しくー北海道」運動 メールマガジン

【わが村運動情報】

- ◎ 札幌駅前通地下歩道空間（チ・カ・ホ）で「わが村は美しく－北海道」運動 P R ！！
～☆『パネル展』 & 『地域特産品の販売会』を同時開催します！！☆～
 - ◎ 帯広農業高校と岩見沢農業高校で「景観研修」を開催しました！
 - ◎ 「わが村は美しく－北海道」運動 パネルコーナー設置にて P R ！！
 - ◎ J R 北海道車内誌「The J R Hokkaido」3月号の掲載情報
 - ◎ 広報誌「開発こうほう」3月号の掲載情報

【わが村コラム】

- ◎『ウォーキングの集い』(うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会(枝幸町))

【わが村団体の活動情報】

- ◎ 「子どもの味噌作り教室」を開催しました！（七飯町）

※イベント情報については日時や内容などが変更となる場合もありますので、事前に関係HP（SNS）などでご確認ください。

【お知らせ】

- ◎「食（くふく）」っていいね！北海道～「北海道のおいしい！」を応援しています～（北海道開発局）

【活動支援メニュー情報】

- 令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）
 - 令和7年度 地域活性化活動助成の募集（一般財団法人 北海道開発協会）
 - 農山漁村の室内に役立つ「便利帳」（北海道農政部）

◎ 地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

◎ 助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会）

◎ 活動支援情報（花と緑のネットワーク）

< 編集後記 >



【わが村運動情報】

◎ 札幌駅前通地下歩道空間（チ・カ・ホ）で「わが村は美しく－北海道」運動PR！！

～☆『パネル展』&『地域特産品の販売会』を同時開催します！！☆～

3月10日（月）と11日（火）の2日間、札幌駅前通地下歩道空間（チ・カ・ホ）において「わが村は美しく－北海道」運動の『パネル展』と運動参加団体による『地域特産品の販売会』を開催します。

期間中、わが村運動の紹介パネルの展示や、わが村団体のパンフレットの配布のほか、5市町村のわが村団体の方々が地域特産品など取扱商品の対面販売を行います。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

【開催月日】令和7年3月10日（月）

～ 3月11日（火）

【開催時間】10:00～19:00まで



※店舗により営業時間が前後する場合があります。

【開催場所】札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）13番出口横 北大通交差点広場（東）

【販売会参加団体（5団体）】

- ◆浦臼町農産加工研究会（浦臼観光協会）（浦臼町） ◆N P O 法人 やくも元気村（八雲町）
- ◆ベジタブルワークス株式会社（真狩村） ◆チーズ工房 1103（日高町）
- ◆合同会社ノーサム（帯広市）

◎岩見沢農業高校と帯広農業高校で「景観ワークショップ」を開催しました！

「わが村は美しく－北海道」運動では、次世代を担う高校生に農業農村の営みによって形成される身近な農村景観が貴重な地域資源であるとの理解を深めてもらうため、岩見沢農業高校は平成28年度から、帯広農業高校は令和5年度から景観に関する研修を行っています。

本年度は、11月27日と12月9日に岩見沢農業高校農業土木工学科2年生30名を対象とし「ドライブ（サイクリング）中に見せたい空知らしい景観」をテーマに、また、1月15日と1月29日には帯広農業高校農業土木工学科2年生38名を対象とし「私たちの選ぶ十勝の○○○景観（○○○には生徒達がテーマに相応しい単語を選択）」をテーマに実施しました。



景観ワークショップの様子（左は岩見沢農業高校、右は帯広農業高校）

◇アンケートの一部をご紹介します。

- ・自分たちは見慣れているが北海道は自然が豊かで素敵な場所だと思った。（岩農高）
- ・十勝といえば畑と広大な十勝平野だと思うので、人々が自然と向き合いながら生活している事がわかる風景が大切だと思います。（帯農高）

生徒たちが身近な農村景観の素晴らしさに気づき、農村景観を守り地域を発展させる人材として育つことを期待します。

◎ 「わが村は美しく－北海道」運動 パネルコーナー設置にて PR !!

～わが村の後援団体が主催するイベントで PR 活動を実施しました～

コンクールの後援団体と連携し、その団体が主催するイベントの会場において、「わが村関連パネルコーナー」を設置させていただき、わが村運動や参加団体の紹介を行いました。

～ 令和 6 年度 「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会 ～

全道から集まった多面的機能支払交付金を活用して
地域の共同活動に取り組んでいる農業者、行政職員等
の方々に、わが村運動の情報や第 11 回コンクール受
賞団体の活動概要を PR しました。

開催日：令和 7 年 2 月 20 日(金)

会 場：「グランドメルキュール札幌大通公園」



主 催：北海道日本型直接支払推進協議会(事務局：北海道、北海道土地改良事業団体連合会)

～ 令和 6 年度 北の国・森林づくり技術交流発表会 ～

全道の森林・林業・木材産業に関わる方々に、森林
などをテーマに活動するわが村団体の情報などを PR
しました。

開催日：令和 7 年 2 月 19 日(水)～20 日(木)

会 場：北海道大学学術交流会館

主 催：林野庁北海道森林管理局



◎ JR 北海道車内誌 「The JR Hokkaido」 3 月号の掲載情報

JR 北海道車内誌には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介さ
れています。3 月号では、第 11 回コンクールで奨励賞を受賞した「しりべし女子会」(後志管

内)について紹介されています。

JRにご乗車の際は、ぜひご一読ください。

JR北海道HPからJR北海道車内誌(最新号)の電子ブックがご覧いただけます。

(HPトップページ↓の下段より「北海道旅の情報誌 The JR Hokkaido」のバナーを選択)

<https://www.jrhokkaido.co.jp/>

「しりべし女子会」については、わが村HPでもご紹介しております↓

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/slo5pa0000019pd9-att/slo5pa0000019pqx.pdf

◎広報誌「開発こうほう」3月号の掲載情報

(一財)北海道開発協会が毎月発行している広報誌「開発こうほう」には、「わが村は美しく－北海道」運動コンクールの受賞団体が毎号紹介されています。3月号では第8回コンクールで奨励賞を受賞した「十勝品質事業協同組合」について紹介されています。

広報誌「開発こうほう」は(一財)北海道開発協会のHPよりご覧いただけますので、「わが村は美しく－北海道 未来へつなぐ」のページをぜひご一読ください↓

<https://www.hkk.or.jp/kouhou/>

「十勝品質事業協同組合」については、わが村HPでもご紹介しております↓

<http://wagamura-net.jp/contest/08/dantai/8603.pdf>

【わが村コラム】

今回紹介するのは、枝幸町歌登の「うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会」(第8回コンクール大賞審査委員特別賞受賞団体)が開催する『ウォーキングの集い』です。

この『ウォーキングの集い』は研究会設立当初の平成19年から行われており、主に新緑から紅

葉の時期（5～10月頃）の日曜日などに年2～5回の頻度でこれまで計56回開催され、延べ参加人数は1,380人にものぼります。ここ最近年はコロナ禍のため令和2年から令和4年まで休止を余儀なくされました。令和5年の夏頃から本格的に再開される予定でしたが、休止中にウォーキングコースが思いのほか倒木や路面の浸食等により荒れてしまい、コースの整備が難航していたため、令和5年に1回（10月）、令和6年に1回（7月）と何とか少人数で試行的に開催されました。今年の春から本格的に再開していきたいとのことです。



昨年7月28日（日）に開催された『ウォーキングの集い』に地域の魅力発見と日頃の運動不足の解消も兼ねて、私も参加させていただきましたので、その様子と感想を紹介します。



開催当日は午前10時に現地（枝幸町歌登）に集合し、10時10分頃からウォーキングを開始。全長3.8kmのコースを休憩を挟みつつ、途中おにぎりの昼食も取りながら約1時間半かけて歩きました。天候は曇り空で、夏真っ盛りの時期でしたが針葉樹、広葉樹の混じった森の中は非常に涼しく、森の持つ癒し効果もあり、日常の何気ないストレスから開放され心身共にリフレッシュすることができました。

コース内は、休憩スポットにベンチやトイレが整備されており、快適にウォーキングすることができます。ただし参加時期によっては防虫対策に注意が必要になるとのことです。

コース途中には、推定樹齢360年のミズナラの



御神木があるほか、癒しの鐘が設置され熊よけにも一役買っています。コース内には眺望の良い



箇所もあり、最高峰の函岳（美深町、標高1,129m）をはじめ、歌登市街などが望め、景色の良さ、緑の濃さと自然の静寂さも堪能できました。また、ウォーキングのゴール地点ではクワガタのお出迎えもあり、久々の出会いに驚きとうれしさを覚えるなど、充実したウォーキングとなりました。

『ウォーキングの集い』は、地域の人たちの交流の場にもなっており、コースは初心者の方でも気軽に参加できますので、興味のある方はぜひ参加してみては如何でしょうか！

■ 『ウォーキングの集い』

【開催場所】「音夢路の森」（枝幸町歌登西歌登）



【お問合せ】うたのぼり・癒しの森「音夢路」利用促進研究会事務局

TEL : 0163-68-2026 (担当 : 石黒さん)

【わが村団体活動情報】

◎ 「子どもの味噌作り教室」を開催しました！（七飯町）

<わが村団体名：ななえの食を考える会>

『ななえの食を考える会』では、地域食材を活かした料理教室、食に関する講演会、果物収穫体験などの「食」に関する活動を行っており、1月18日（土）には「子どもの味噌作り教室」を開催しました。この日は田中会長が講師を務め、幼児と小学生の4人が参加しました。

大豆は森町で取れた“おつな姫”を使用しました。大豆自体に甘みがあって人気の品種です。麹は

厚沢部産の生麹を使用しました。



①まずは麹を手でパラパラになるまでほぐしてから、塩と混ぜ合わせます。(塩きり麹)

②柔らかく茹でた大豆をマッシャーで潰します。

③潰した大豆に①の塩きり麹を入れて混ぜます。

④よく混ぜたら、ハンバーグを作るときのように空気を抜いて野球のボールくらいの大きさになるよう丸めた“味噌だんご”を作ります。

⑤味噌だんごが出来たら、隙間なく容器に詰めていきます。

⑥容器に味噌だんごをすべて入れたら、まわりをアルコールできれいに拭き取り、空気が入らないようにラップを密着させて、その上に塩を敷き詰めます。塩には重しの役割と殺菌の効果があります。

⑦容器に紙と紐を使ってふたをしたら仕込みは完了。6ヶ月後にはできあがります。

味噌作りは材料が3つ。つぶしたり、まぜたりする作業は小さなお子さんも楽しそうに行っており、「思ったより簡単だった」「味噌だんごを作る



のが楽しかった」という声も聞かれました。自分で作った味噌は格別です。参加の子どもたちそれぞれがふたに日付や絵などを書いて、自分だけの味噌のできあがりを楽しみにしている様子でした。

仕込みが終わった後は、「味噌汁の具は何が好き~」といった話しをしながら昨年の味噌作り教

室で作った2年物の味噌を使ったお味噌汁を試食し、子どもの味噌作り教室は楽しく終了しました。

『ななえの食を考える会』では、食に関する様々なイベントを行っておりますので興味のある方はお問い合わせください。【お問合せ】090-9754-3612（ななえの食を考える会 田中）

【お知らせ】

◎「食（しょく）」っていいね！北海道～「北海道のおいしい！」を応援しています～

（北海道開発局）

北海道開発局では、北海道の「食」の高付加価値化を目指して、皆様に北海道産農水産物への関心を高めていただくため、“「食（しょく）」っていいね！北海道～「北海道のおいしい！」応援隊～”として広くその魅力を発信しています。

■「北海道のおいしい！」応援隊



「北海道のおいしい！」応援隊に任命されたシマエナガの「ひんな」と「いへ」が北海道の農水産物を食べたり紹介したりしてたくさん応援します。「北海道のおいしい！」応援隊の結成も動画で紹介していますので、こちらもご覧ください。↓

<https://www.youtube.com/watch?v=iuMhMG99Zyg&feature=youtu.be>

■ 今年度は3本の動画を公開しました！

◆ 寒い北海道でもさつまいも！？「ゆきこまち」編

近年の気候変動の影響で、北海道でも栽培されるようになってきたさつまいも。北海道のような冷涼な地域でも収量がとれるホクホクおいしい新品種「ゆきこまち」の開発苦労話等について紹介しています。

<https://www.youtube.com/watch?v=9OsTdfNiYQ&feature=youtu.be>



◆ 丹精込めて育む地域の誇り！ 「真狩ゆり根」編

日常的に食べることは少ない作物ですが、収穫量のほぼ全量が北海道産。収穫までには驚くほどの時間と労力がかかります。生産者さんのご苦労と、地元の食材を応援する北海道真狩高等学校の生徒達の取組を紹介しています。



<https://www.youtube.com/watch?v=OY1VjyMw2cg&feature=youtu.be>

◆ 寒さを活かして甘く！美味しい！ 「ケール」編

(地独) 北海道立総合研究機構が研究に取り組んでいる「冬季無加温栽培」で栽培されたケールは驚くほど甘い！北海道のような寒冷地の厳冬期でも無加温で葉物野菜を栽培する技術と、その技術を使うことで甘く美味しい育つ高



糖度ケールについて伺ったお話を紹介しています。

https://www.youtube.com/watch?v=B0_eAqcZmlk&feature=youtu.be

詳しくはこちらをご覧下さい。 ↓

(北海道開発局ホームページ「北海道のおいしい！」応援隊)

<https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ki/chousa/slo5pa000001bu8y.html>

【お問合せ】 北海道開発局開発監理部開発調査課（担当：大久保）

TEL：011-709-2311（内線5445）

【活動支援メニュー】

○令和7年度 わが村運動活動助成の実施（NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク）

当NPO法人では、北海道開発局と連携し「わが村は美しく－北海道」運動を推進しており、

その参加団体の活動支援を行っています。

その活動支援の一つとして助成事業を実施しており、現在、令和7年度（前期）の申請受付を行っています。

助成事業の詳細については、当NPO法人のHPによりご確認ください。

「わが村は美しく－北海道」運動は地域で頑張る皆様を応援しています。

【申請受付期間】（前期）令和7年1月～令和7年6月30日まで

【助成額】1団体当たり1件、10万円を限度として、選考により予算の範囲内で助成

【HP】 <http://wagamura-net.jp/>

○令和7年度 地域活性化活動助成の募集（一般財団法人 北海道開発協会）

一般財団法人 北海道開発協会では、「地方版総合戦略」と新たな北海道総合開発計画の推進に寄与する地域自らの発想による地域づくりを支援するため、非営利の市民団体が実施する地域づくりの企画、推進または実施の活動に対して助成を行っています。

助成の詳細については、当法人HPに掲載されていますのでご確認ください。

【申請受付期限】令和7年4月21日（月）（同日消印有効）

【助成額】1団体当たり1件、70万円を限度として選考により助成

【HP】 <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chiiki.html>

○農山漁村の案内に役立つ【便利帳】（北海道農政部）

北海道農政部では、農山漁村において旅行者を受け入れる地域の活性化に資する取り組みを積極的に推進するため、案内等に当たっての留意点や参考となる情報を紹介する【便利帳】を作成しています。詳細は、北海道農政部HPをご覧ください。

【HP】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/ski/gt/benricyou.html>

○地域を応援するマンスリーレター（北海道経済部）

北海道経済部にて毎月発行している「地域を応援するマンスリーレター」では地域の皆さんができる活用できる支援メニューなどタイムリーな情報をお届けしています。詳細は、北海道経済部HPをご覧ください。

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/a0004/b0002/>

・北海道どさんこプラザ・テスト販売品の募集について

どさんこプラザ・テスト販売制度は、販路拡大・商品開発などに取り組む道内企業の方々を応援するための制度で、新商品を3ヶ月間「どさんこプラザ」で販売し、その過程で得られた情報をマーケティング活動に役立てていただくことを目的としています。

売上が好調な商品はさらに3ヶ月継続して販売し、販売期間終了後には、店から商品の評判や評価などのアドバイスが受けられるほか、定番商品化へ移行のチャンスもあります。

【募集期間】（テスト販売期間：R7 第2四半期（7月～9月））

令和7年4月1日～令和7年5月20日

【お問合せ】北海道経済部食関連産業局食産業振興課 マーケティング係

TEL 011-204-5766

【H P】 <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sss/marke/103176.html>

○助成金情報（公益財団法人 北海道地域活動振興協会HP）

公益法人、民間企業などの助成事業等が掲載されていますので、ご参考まで↓

【H P】 <http://www.fureaizaidan.or.jp/SubsidyList.php>

○活動支援情報（花と緑のネットワークHP）

環境保全や地域づくり活動に活用できる助成・支援制度などの情報が掲載されていますので、ご

参考まで↓

【H P】 https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/support/support_system/

< 編集後記 >

毎年この時期になると、パッケージに桜のモチーフが使われた商品が販売されているのを見て、長い冬の終わりが近づいてきていることを感じています。桜味のお菓子も各種登場しますが、桜味の代表といえば桜餅ではないでしょうか。

桜餅にはクレープ状の生地に餡を包む関東風と、つぶつぶした食感が特徴の生地に餡を包む関西風の2種類があり、北海道では関西風桜餅が主流。

なぜ北海道に関西風が広まったのか不思議ですが、一説には、江戸時代から明治時代にかけて日本海運で活躍した北前船で大阪から伝わったからと言われているそう。食に歴史ありますね。

2025年の桜開花予想が発表され、北海道は平年より早まる予想ですが、まだ先の話。春の訪れが待ち遠しいです。

発行：北海道開発局農業水産部農業振興課

〒060-8511 札幌市北区北8条西2丁目 札幌第1合同庁舎13階
↓わが村HPはこちらからご覧ください。

https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/ns/nou_sin/ud49g7000000emhm.html

↓Facebookでも情報配信しています。

<https://www.facebook.com/wagamura>

お知り合いの方にも、ご紹介お願いします！

本メールマガジンは送信専用アドレスで配信しています。

配信希望・ご意見・ご感想はこちら hkd-ky-wagamura.u@gxb.mlit.go.jp

(配信希望の方は、所属先（所在地）、氏名、メールアドレスを明記の上、こちらへ↑ご送付ください)

※一部ホームページではInternet Explorerに対応していないものがありますので、

Microsoft Edge等を使用して接続してください。
